

平成29年度
事業報告書

公益社団法人 全国大学保健管理協会

事業報告書 目次

I 事業の概要

1 保健管理研究集会事業

1) 全国研究集会開催事業 2

2) 地方部会研究集会開催事業 3

2 保健管理業務情報事業

1) 機関誌発行事業 6

2) 情報活用・交換事業 7

II 処務の概要

1 役員等に関する事項 8

2 職員に関する事項 10

3 会議に関する事項 10

4 会員の異動状況 11

III 事業報告に係る附属明細書 12

IV 財務諸表等 13

平成29年度事業報告書

I 事業の概要

1 保健管理研究集会事業

1) 全国研究集会開催事業

全国大学保健管理研究集会は、全国の国・公・私立大学における保健管理の研究者及び実務担当者等が一堂に会し、各大学において取り組んでいる学生・教職員の保健管理に関する種々の課題について、その調査・研究成果を発表・討論すると共に、日常業務に関連した領域の識者から専門事項について教えを受け、感染症やメンタルヘルスなどの時宜を得た講演を受講し、シンポジウムにおいて議論に参加することにより、参加者の専門知識の修得及び技術の向上を図り、大学における学生・教職員等の保健管理の一層の充実、公衆衛生の向上並びに学術研究の発展に寄与することを目的として開催している。

平成29年度の第55回全国大学保健管理研究集会は、平成29年11月29日、30日の両日、文部科学省後援、当番校の琉球大学との共催により、沖縄コンベンションセンターにおいて開催した。今回の研究集会は、「大学から地域へ広げる健康づくりの輪～ゆいまーる～」を共通テーマに、特別講演の開催など充実した内容の研究集会となった。

その概要は、以下のとおりである。

日程等	テーマ・講演題目等	参加者
平成 29.11.29～30 沖縄コンベン ションセンター	共通テーマ 「大学から地域へ広げる健康づくりの輪～ゆいまーる～」 特別講演 I・II 「島嶼からみる健康・医療」 (大城 肇 琉球大学 学長) 「あらためて、『生まれる場』と『死ぬ場』から考える」 (三砂ちづる 津田塾大学学芸学部教授) 教育講演 I・II・III・IV 「形態とゲノムから探る琉球列島のヒト」 「昆虫社会における共同と裏切りのせめぎ合い」 「南の島、沖縄県における感染症から琉球人のルーツを探る」 シンポジウム I・II テーマ：健康長寿を目指した取り組み：大学と地域の役割 テーマ：学生の多様性と支援の広がり 一般研究発表 「健康診断1・2・3」、「健康教育・健康増進1・2・3・4・5」、「健康教育・精神保健1」、「健康教育・その他1・2」「健康管理・疾病予防1・2・3・4」、「学生相談1・2・3・4・5・6」、「精神保健1・2・3」「精神保健・産業保健1・2」「実態調査1」、「留学生問題1」等をテーマに163演題を研究発表	約622名

2) 地方部会研究集会開催事業

当協会では、北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中国四国及び九州の各地域に地方部会を設け、当該地域の大学の保健管理施設に勤務する医師、研究者や医療担当者等が日頃から取り組んでいる保健管理に関する課題等について、その成果を発表・討論するほか、地域の特性に応じたテーマ或いは職種毎の研究会・研修会を開催して保健管理に関する研究の進展や技術の向上等を目的とした地方部会研究集会を開催している。

平成29は、以下のとおり7地方部会のすべてにおいて研究集会、研究会や保健師・看護師分科会等の研究・研修会を開催し、研究集会・研究会等には約1,000校1,700名の参加者があった。

○地方部会研究集会

地方部会	日 程	当番校等	テ ー マ ・ 講 演 題 目 等	参加者
北海道	平成 29.9.6～7	北見工業大学 ホテル黒部	講演等 「カーリングのトレーニング～世界をを目指す北見工業大学カーリング部の取り組み」、「大学保健センター保健室における薬の話」、「精神科を受診される若い方について」、「胎児期・小児期・思春期の健康・疾患を考える」等6演題の講演	37校 90名
東 北	平成 29.7.13～14	弘前大学 アートホテル 弘前シティ	特別講演 「若者の発達障害の広がり」と長期予後」、 「青森県で行われている短命県返上活動について」 教育講演 「若者の食生活があぶないーいくつかの調査からー」、「大学生活における心理社会的問題と身体愁訴へのアプローチ」 研究発表 「他機関との連携による若者向け自殺予防の取り組み」、「学生相談からみたメンタルヘルスの現状と課題」、「学生の大麻乱用に関する新聞報道」等6演題	37校 80名
関 東 甲信越	平成 29.8.31～9.1	千葉大学 千葉市文化センター アートホール	部会長講演 「グローバル社会とワクチン開発」 教育講演 「ドローンの先端技術と課題および今後の展望」等3講演 シンポジウム1 テーマ「グローバル社会における感染症管理」 1) 西アフリカにおけるエボラ出血熱の流行ー支援者の立場から等4演題	165校 371名

関 東 甲信越			シンポジウム 2 テーマ「メンタル不調者の早期発見と支援」 1) 社交不安の学生への認知行動療法等 4 演題	
東 海 北 陸	平成 29. 7. 27～28	金沢大学 金沢ニュー グランドホテル	パネルディスカッション 1・2・3 テーマ「大学で取り組む食事指導の実際」 「食育をされる人からする人に～食事指導力を育むため」等 テーマ「学生のメンタルヘルスを支える連携」 「危機介入および予防的対応としての学内連携について」等 テーマ「大学国際化によって変わるヘルスサポート」 「国際化におけるフィジカルヘルスの課題」等 特別講演 「人間力強化を目指した学長と行く合宿」 「産婦人科医の立場からみた女子学生の健康管理」	66 校 4 施設 117 名
近 畿	平成 29. 8. 8	立命館大学 大阪いばらき キャンパス	講演 「包括的学習者支援体制の構築に向けて～学生の自立と成長を軸に～」 シンポジウム 「大学内における保健管理部門と他部署との連携について」	83 校 158 名
中 国 四 国	平成 29. 8. 23～25	高知大学 高知会館	特別講演 「何故、大学で感染症対策が必要か」 教育講演 1・2・3 「平均的な日本人になるということ～成長と成熟のはざままで～」、「不安症群におけるパニック症に焦点をあてた症状把握と対応の重要性」、「ストレスを科学する」 メンタルヘルス講演会 「自閉症スペクトラム特性のある学生への就労支援」 一般研究発表 「学生健康情報データベースシステムの構築ー導入後 3 年目を迎えてー」等 2 2 演題	44 校 95 名

九州	平成 29. 8. 24～25	九州大学 医学部 百年講堂	特別講演 I 「心と体の結びつきからみたストレス対処」 教育講演 II 「線虫がん検査 N-NOSE の発明と実用化」 シンポジウム 「学生の支援体制～現状と課題」 一般研究発表 「学生を対象とした頭痛の実態調査」等 8 演題	64 校 147 名
----	--------------------	---------------------	--	---------------

○保健・看護分会等の研究集会・研究会

地方部会	日 程	当番校等	テーマ・講演題目等	参加者
北海道	平成 29. 9. 6	北見工業大学	事例検討会 「発達障がいのある学生の支援について」 分科会情報交換会	
東北	平成 29. 7. 13	弘前大学	講演 「思春期から老年期まで女性が健康に生きるため」	
関東 甲信越	平成 29. 8. 31	千葉大学	シンポジウム テーマ「大学保健管理の看護職が行う研究－明日からできる研究の基礎」 ①看護職が研究する意義－研究を日常業務に生かす 等 4 演題	
東海 北陸	平成 29. 7. 27	金沢大学	シンポジウム テーマ「学生対応での取り組み～大学の規模や特徴からみて～」 「健康診断後の個別指導～肥満指導を中心に～」、「大学院大学における学生への対応について～医療保健活動業務を通しての課題～」等	63 校 92 名
	平成 29. 8. 25 静岡地区研究会	浜松医科大学	講演 「摂食障害の学生との効果的なかかわり方について」 情報交換等	12 校 23 名

	平成 29. 11. 2 東海地区研究会	名古屋工業大学	講演 「今さら人に聞けない健保のはなし」 「学生相談の経験から」 「旅行医学について学ぶ」	37 校 44 名
	平成 29. 11. 10 北陸地区研究会	福井工業大学	講演 「大学生の健康習慣～朝食抜き・運動不足・ストレス・夜更かし・食生活の乱れ」 情報交換	20 校 28 名
近畿	平成 29. 9. 14	立命館大学	講演 「特別なニーズのある学生への支援について～成長支援の視点を大切に～」 テーマ別グループ討議 ①学生健診について ②救急対応について ③感染症対応について 等 8 議題	68 校 102 名
	平成 30. 2. 22 京滋地区	京都学園大学	講演 「適切な感情制御の実現に向けて：感情制御のプロセスとその効果・弊害」 意見交換	26 校 33 名
	平成 29. 12. 8 阪奈和地区	関西大学	講演 「学校保健安全法について」 情報交換	26 校 38 名
	平成 29. 12. 7 兵庫地区	武庫川女子大学	講演 1・2・3 「日本で誕生した発酵食品の魅力、そして開発」、「再生医療（特に整形外科領域）の現状」、「女子大学における現在の健康課題と今後の健康管理方向性」	26 校 35 名
中国 四国	平成 29. 8. 23	高知大学	講演 「障害者差別解消法と大学における障害学生支援」～高知大学における合理的配慮提供と今後の課題～	37 校 59 名
九州	平成 29. 8. 23	九州大学	セミナー I・II・III 「九州大学におけるメンタルヘルス支援の現状」、「健康信念モデルと自己効力感理論と演習」、「九州大学健康支援プログラムについて～リフレッシュプログラム mini の実習から」	59 校 87 名

2 保健管理業務情報事業

1) 機関誌発行事業

大学における保健管理に関する調査研究活動の一環として、学術論文集を機関誌『CAMPUS HEALTH』としてホームページに掲載している。

本機関誌『CAMPUS HEALTH』は、特集記事、推薦論文、投稿論文、特別寄稿記事から構成する研究論文集と、全国大学保健管理研究集会報告集を年1回作成している。

平成29年度の、『CAMPUS HEALTH54(2)』（研究論文集）は、特集「大学国際化における学生支援」をテーマに「大学の国際化と保健管理」など17論文、並びに一般投稿論文として「学生・教職員を対象とした禁煙外来の取り組みと今後の課題」など21論文を掲載している。

また、全国大学保健管理研究集会報告集『CAMPUS HEALTH55(1)』には、『大学から地域へ広げる健康づくりの輪～ゆいまーる～』を共通テーマに、特別講演「島嶼からみる健康・医療」、教育講演「形態トングゲノムから探る琉球列島のヒト」など5演題、シンポジウム「健康長寿を目指した取り組み：地域の役割」等2演題及び一般研究発表163論文を掲載した。

2) 情報活用・交換事業

麻疹や新型インフルエンザの流行、子宮頸がんワクチンの認可及び行政上の接種支援措置の実施とその後の「積極的な接種勧奨の差し控え」問題など大学における保健管理に関する事案について、大学として時宜を得た施策が求められるが、個々の大学の保健管理施設だけでは対応が難しい。

そこで、当協会では大学の保健管理に関する各種の情報や資料の収集を行い、各大学が合理的で適切な判断や対応ができるように、これら収集した情報や資料を提供している。

その方法は、第一には大学の保健管理に関する有用な刊行物を買って上げて会員等に無償で配付する事業、第二にはインターネット環境を利用して感染症の発生など緊急事態への対応時の連絡や情報を任意宛に一斉配信する事業として行っている。

平成29年度は、法人の事業を円滑に行うため、当協会のホームページを充実し、会員サイトを立ち上げた。また、研究集会などの行事予定、地方部会の活動状況、総会・理事会等の会議録、会員情報等の情報を広く提供して、情報公開に努めた。

また、双方向メール配信システムを構築し、運用を開始した。